令和４年度三重県よろず支援拠点 地域支援機関連携フォーラム

成果事例『生産性向上』

中小の建設業のＤＸ化支援事例
～クラウド活用＆ドローン活用～

令和５年３月１６日

三重県よろず支援拠点コーディネーター

中小企業診断士　石崎一之進

事例企業の概要

・森甚建材株式会社

・創業 1920年6月

・授業員９名

＜事業内容＞

・ タイル・石材での床、内壁、外壁等の施行

・ タイル補修工事、点検業務

現状（相談のキッカケ）

- タイル出荷量(㎡) は年々減少
  - 2020年：前年比14.2%減
  - 2021年：前年比7.7%減
  - 成長業態とは言えず、施工業務を主とする企業は淘汰が進む

- タイル施工技術ノウハウを活かす
- ＩＴ活用で生産性を高める
- 売上拡大、企業成長が見込める業態へシフト

課題

1. 価格競争が激化している
2. 社歴、実績、長年の付き合いだけでは、今後受注が減少する
3. 従業員の高齢化、人手不足で受注しても対応できなくなる

以上から、

時間経過と共に売上逓減、利益逓減が予測されるため、
ITを活用し、他社との差別化を図ると共に、
生産性を向上させる必要があった。

IT化に向けてのSWOT

強み

長年培ってきてタイル施工ノウハウ
IT強化のために担当を配置
担当の行動力（よろずへの相談）

弱み

従業員の高齢化、人手不足
ITリテラシーが低さ
社内で相談できる相手がいない

機会

ドローン活用の流れ（各種法整備の動き）
IT活用推進の流れ（補助金の充実）

脅威

価格競争の激化
IT活用による生産性の格差拡大

支援内容・成果

フェーズ①

- IT化に向けたロードマップ作成
- 計画実現のためのタスクとマイルストーンの明確化
- 社内でのビジョン共有

フェーズ②

- クラウド型の建築・建設プロジェクト管理ツールの導入
- フォロー体制の構築

フェーズ③

- ドローンを活用した新規事業の明確化
- 補助金の申請支援（ブラッシュアップ）